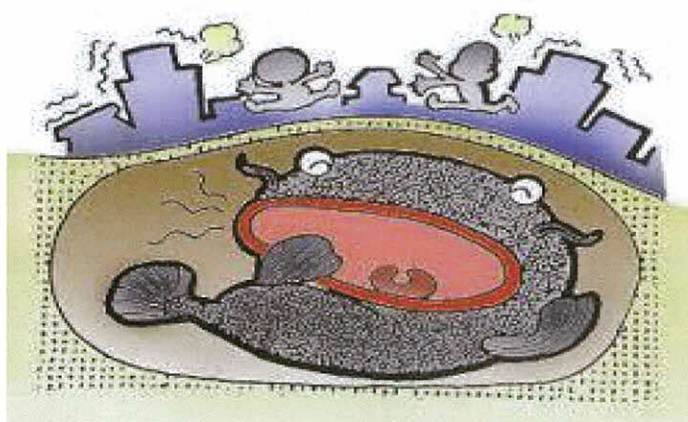


菱沼小和田自治会

防災マニュアル 各家庭保存版



目次

(1) 巨大震地の実態を知ろう

神奈川県地震想定被害調査(平成27年3月更新)

(2) 最も重要な防災アクション

● 生命・身体・財産を守る事前の備え4項目

(3) 地震が来たら!

- ① 大規模火災の火元にならない! (初期消火)
- ② 危険を感じたらとにかく避難
- ③ 余裕があれば、近隣の被災者救助

(4) 平素の備え

- ① その1 “もの”
- ② その2 “決め事”

(1) 巨大地震の実態を知ろう

神奈川県地震想定被害調査(平成27年3月)より 〈茅ヶ崎市の状況〉

大正型関東地震(関東大震災の再来)の場合、震度 **7**、マグニチュード **8強**

- ・建物被害 全壊 **15,950**棟 / 半壊 **13,400**棟 (市内家屋の約38%が全半壊)
自力脱出困難者(倒壊・損傷建物内の閉じ込められ者) **2,870**人
- ・火災被害 出火：**80**件 / 焼失：**12,000**棟(全市家屋の約**34%**)
菱沼小和田地区：クラスター(延焼運命共同体) 火災で約 4,600 棟が焼失
- ・人的被害 死者 **940**人 / 重症者 **400**人 / 中症者(病院治療要) **2,680**人
- ・インフラの復旧 電力**12**日 / 通信**12**日 / 上水道**48**日(県内最遅) / 下水道相当期間(公示なし)

* **震度7は多くの皆さんがこれまで経験したことのない想像を絶する激しい揺れです**

(2) 最も重要な防災アクション

生命・身体・財産を守る事前の備え4項目

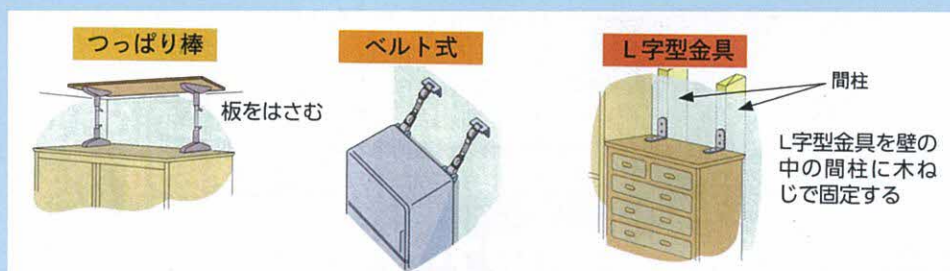
自助こそ肝要

① 室内に置いてあるものを点検

☞ 不要なものは置かない！ 重いものは上に置かない！

☞ 家具等の転倒防止処置を行う

「**つっぱり棒・ベルト式・L字型金具**」などがありますが、取り付け工事は工務店あるいはホームセンターなど専門家に相談した方が無難です！



② 家屋の耐震診断および耐震工事の実施

診断・工事には**補助金**を利用しよう。

詳しくは：茅ヶ崎市役所建築指導課建築安全担当 0467-82-1111

☞ **家屋の倒壊は人を危険に曝すばかりか、道路を塞ぎ救援活動の妨げとなるなど多大な迷惑となります**



③危険箇所（ブロック塀、高所の看板・ガラス、屋根瓦の落下等）の改善・排除

* 施工基準どおりの施工が為されていても

震度7などの激しい揺れでは、ブロック塀は危険です

「通行障害建築物耐震診断補助金」の利用

昭和56年5月31日以前の旧耐震基準の建築物のうち、倒壊時に道路の通行を妨げる恐れのある建築物（住宅に限らない）の所有者に対する補助金です

詳しくは：茅ヶ崎市役所建築指導課建築安全担当 0467-82-1111



④初期消火の為の備え

各戸に消火器を備え！いつでも使えるようにしておく

初期消火を怠ると

- ・特に茅ヶ崎市では広範なエリアに延焼するリスクが高い（クラスター火災）
- ・地震の揺れを凌いで家財が助かっても、結局焼失という無念なことになる
- ・倒壊家屋から救出される前に無残にも焼け死ぬ



消火ホースの取り扱いにも習熟しておく  防災訓練

但し ・初期消火には間に合わない（小規模延焼の食い止め程度）

・断水時には機能しない（断水箇所1,350箇所 /断水人口229,410人【全市民の96.5%】 復旧48日）
 など効果は限定的である点に留意

(3)地震が来たら それは突然襲ってくる

 地震の最中には何もできない！

（とにかく身を守り、ひたすら終息を待つ 下手に動いてはいけない）

震度7

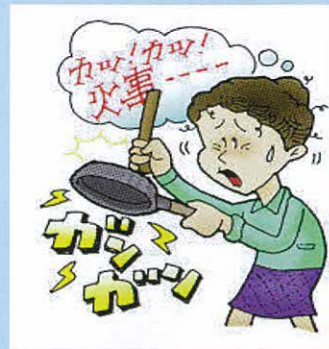
- ・揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない
- ・ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものがある
- ・ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下するものがある
- ・補強されているブロック塀も破損するものがある
- ・耐震性の高い住宅でも、傾いたり大きく破壊するものがある

震度7以上の地震（阪神淡路大震災以降）

発生日	地震名	M	最大震度
1995年 1月17日	阪神淡路大震災	7.3	7
2004年10月23日	新潟県中越地方	6.8	7
2011年 3月11日	東日本大震災	9.0	7

注)M:マグニチュード

- ① 揺れが収まったら、先ず出火の確認 自宅、次に近所
出火があれば、自宅でも近所でも **全力で初期消火にあたる・同時に
大声で応援を呼ぶ!** (日ごろ訓練しないと咄嗟の時声が出ない  防災訓練)



- ② 余震による家屋の倒壊の恐れや、延焼が始まって火が迫ってきたら、
思い切って早めに自宅を離れて安全な場所へ避難する

* 家を離れる時はブレーカーを落として、**通電火災**の発生を防ぐ

* **通電火災とは**

停電後の電気復旧時、倒れた電気ストーブ、レンジ、コード損傷部のスパークなどが火元
となって起きる火災。阪神・淡路大震災の火災のうち、6割が通電火災であった




非常時に冷静に行動することは
難しいので、地震を感知し自動
でブレーカーを遮断する『感震
ブレーカー』などを予め取り付
けておくのも有効(ホームセンタ
ー防災コーナーにお問い合わせ
ください)

**避難するときには、必ず
ブレーカーが落ちている
ことを確認してから家を
離れましょう**

- ③ 倒壊家屋からの救出(対象:家族、近隣者)

- ・応援を呼ぶ、(人数の確保)
- ・救出機材を確保する  取扱いは防災訓練で習熟
- ・二次災害などに注意し、慎重に行動する  **火が迫って来た時は諦めて逃げる!!**

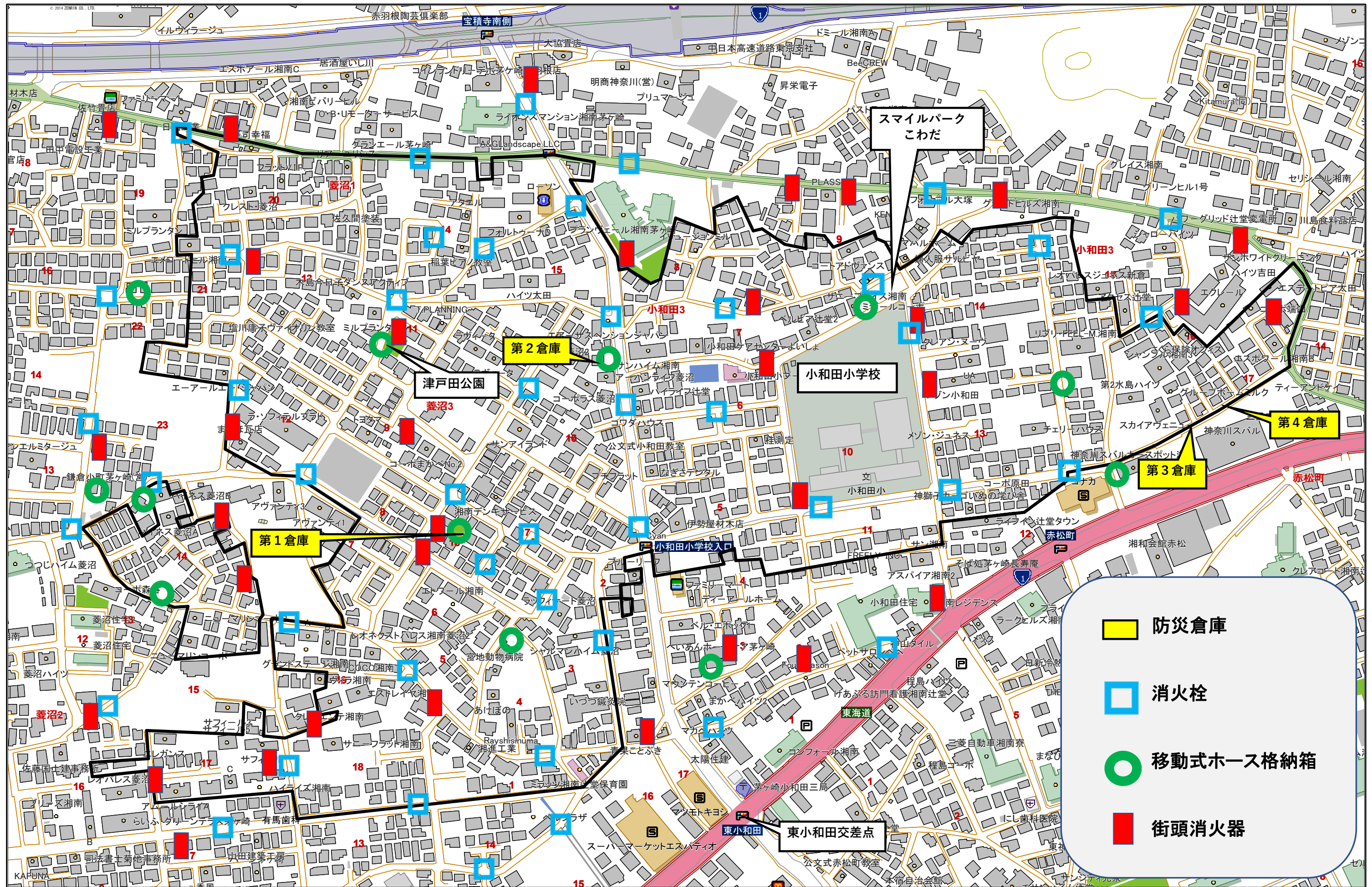
* ご近所との平素の良好な関係は防災にとって、とても大切なものです
災害時には、誰が被災者となり、誰が救済者となるかは、予め想定
していても、その時にならなければ分かりません その点で、
共助は有効であると同時に不確実なものでもあるのです
また、巨大災害では、公共機関や地域防災組織も大きな
ダメージをうけ、機能できないことも十分あり得ます

 救出機材:倒壊家屋などからの被災者を救出する為の機材
自治会防災倉庫における保管状況を7ページ

これまでに述べた(2)最も重要な防災アクションの①~④を
 しっかり行い、(3)地震が来たらの①~③を行って、
 少なくとも軽傷程度で避難場所にたどり着ければ、
あとは何とかなる!




- ◆ **広域避難場所:** 湘南カントリー(茅ヶ崎市指定) / 芙蓉カントリー・神台公園(藤沢市指定)
- ◆ **避難所(地区防災拠点):** 小和田小学校 / 松林小学校 / 赤羽根中学校
 災害が収まったあと、周辺の安全等を確認の上、開設される。赤羽根中学校は「避難所」ですが、当自治会としては、大規模火災から避難する一時的な避難場所としても考えています。



(4) 平素の備え

① その1 “もの”

- ◆ 寝室、居間に懐中電灯/スリッパ/軍手を常備  緊急避難時に重要
- ◆ 風呂の水を棄てずに張っておく(断水対策)
 - ・水洗トイレが使える
 - ・簡単な洗濯・掃除に便利(被災後は何かと汚れる)
 - ・消火用水源(特に初期消火)
- * 近年の災害で「被災者の多くの方々が推奨」しています
 ✓ 但し幼児のいる家は要注意
- * 会員各自がそれぞれ独自に判断して実施してください
- ◆ 災害情報把握の為に携帯ラジオ確保(電源不要な手回し式もある)
- ◆ 一週間分の水・食糧の備蓄
 - ・家屋が損壊しても取り出せるところに保管する(ガレージ・倉庫 .etc)
 - ・在宅避難でも避難生活が長引けば、避難所などへ水や食糧を取りに行く必要がある
- * 会員各自がそれぞれ独自に判断して実施してください
- ◆ 薬常用者は薬および薬名を書いたメモ/現金も有効(被災者意見)
- ◆ 非常持ち出し袋
 - * それぞれの会員にとって必要と思われるものを独自にご用意ください
- ◆ 救出機材保管状況 『防災関連設備配置図』を参照

2016.1.31 現在【自治会防犯防災部】		
倉庫名	倉庫所在地	救出機材
第一倉庫	菱沼第一公園	救急箱×1
第二倉庫	ポケットパーク	救急箱×1 タンカ(布付)×3 タンカ(棒のみ)×4本(2セット) 車イス×1 リヤカー×1 台車×2 脚立(折り畳式)×1 トラロープ×1
第三倉庫 第四倉庫	国道沿い神奈川スバル裏	救急箱×2 タンカ(布付)×1 車イス×4 リヤカー×3 台車×1 二連梯子×1 トラロープ×2 チェンソー(注:電動)×3 斧(大)×1 丸パイプ(てこ用)×3 工具箱(大): ジャッキ×3、のこぎり×3、ワイヤーカッター×1 ハンマー×1、手斧×1、ナタ×1、ゴーグル×2 工具箱(小): ニップ×7、モンキーレンチ×2、バール×1 アルミニスト×1、玄能×1、ペンチ×1、ドライバー×1 工具セット : 六角レンチ、ドライバー、両口スパナ 各1

- ◆ 自助・共助が重要
 - * 阪神・淡路大震災では、家屋の倒壊などによる自力脱出困難者の約9割が公的機関ではなく、家族・友人・隣人などによって救出されたと言われています

② その2 “決め事”

☞ 予め家族で **安全な落ち合い場所**、及びそこへのなるべく **安全な道順** を決めて周知しておく



- * 茅ヶ崎市の場合は、特に大規模火災を想定、家の建て込んだ道路は避けて避難ルートを考える
- * 地図に、避難路を記入し、家族内で周知しておく

☞ 家族の安否確認 『伝言ダイヤル171』



伝言登録

- まず“171”とプッシュ
- ガイダンスに従って番号をプッシュ
- 伝言を登録したいので1をプッシュ
- 被災地の方の電話番号を局番からプッシュ
- “1#”をプッシュ
- “ピッ”と言う音の後30秒以内に伝言を録音
- 終わりに“9#”をプッシュ
- 伝言を繰り返し、訂正したいときは“8#”
- 完了

伝言再生

- まず“171”とプッシュ
- ガイダンスに従って番号をプッシュ
- 再生を登録したいので“2”をプッシュ
- 被災地の方の電話番号を局番からプッシュ
- “1#”をプッシュ
- 繰り返し再生 は“8#”
- 次の伝言へ移行 は“9#”
- 伝言を追加して録音する場合は“3#”
- 完了

録音が一件あたり30秒と短いため、あらかじめ録音の内容を考えておく



伝言保存期間は録音してから48時間

非常持ち出し品の一例 (□ チェック欄)

- | | | |
|----------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 身分証明書 | <input type="checkbox"/> 健康保険証 | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 |
| <input type="checkbox"/> 予備電池 | <input type="checkbox"/> 常備薬 | <input type="checkbox"/> お薬手帳 |
| <input type="checkbox"/> 母子手帳 | <input type="checkbox"/> 生理用品 | <input type="checkbox"/> 粉ミルク、哺乳瓶 |
| <input type="checkbox"/> 上着(着替え) | <input type="checkbox"/> 現金 | <input type="checkbox"/> 電話帳(携帯電話) |
| <input type="checkbox"/> 預金通帳 | <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ | <input type="checkbox"/> おむつ |
| <input type="checkbox"/> 歯ブラシ | <input type="checkbox"/> 下着 | <input type="checkbox"/> 飲料ペットボトル |



防災に関するお問い合わせは、各組評議員にお寄せ下さい

地震時の避難・行動フローチャート



自分の避難先について事前に確認しておきましょう

- 私の家の近くの広域避難場所は _____ です
- 近くに広域避難場所がない時は _____ へ
- 私の家の近くの避難所は _____ です

! 地震火災は、事前の備えで大きく被害を軽減することができます。いざという時に命を守るように、一人一人が正しく備えましょう!



『菱沼小和田自治会 防災マニュアル 各家庭保存版』

菱沼小和田自治会 初版:2016.1.31